

春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

図 面 リ ス ト			
機 械 設 備 工 事		電 気 設 備 工 事	
図 番	図 面 名 称	図 番	図 面 名 称
M-1	表紙・図面リスト	E-1	電気設備工事 特記仕様書
M-2	機械設備工事 特記仕様書	E-2	配置図（改修）・立面図・盤結線図
M-3	仮設計画図	E-3	1階 平面図（改修）
M-4	機器表（撤去）	E-4	2階 平面図（改修）
M-5	機器表（改修）	E-5	3階 平面図（改修）
M-6	系統図（撤去）	E-6	R階 平面図（改修）
M-7	系統図（改修）	E-7	1階 平面図（撤去）
M-8	1階 平面図（撤去）	E-8	2階 平面図（撤去）
M-9	1階 平面図（改修）	E-9	3階 平面図（撤去）
M-10	2階 平面図（撤去・改修）	E-10	R階 平面図（撤去）
M-11	3階 平面図（撤去・改修）		
M-12	R階 平面図（撤去）		
M-13	R階 平面図（改修）		
M-14	標準図		



Sheet No.
M-1

14

Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事
Class 表紙・図面リスト
Checked by b. s. j. s.
Date
Scale -
TAKATSUKI CITYHALL A. SECTION OF ARCHITECTURE

[illegible]

留意事項

1. コンクリート・モルタル・塗料が付着した施工用具については、周辺環境に影響を与えないように適切に処理を行うこと。
2. 塗料の施工を行う場合は、現状の天気及び天気予報を確認した上で、降水の可能性がある場合は施工をとりやめること。
また、夜間に気候急変の可能性があるので、日中に乾ききる時間までに塗装作業を完了し乾燥を確認すること。
3. 防水工事を行う場合は、ドレンを完全に塞ぎ外部に流出しない対策を行った後に施工すること。
4. 雨水側溝や下水管に建築資材が流れ込みそうな場所では、流出防止のため土嚢によるせき止めやノッチタンクへのポンプアップ等の措置を講じた上で施工すること。
5. 建築資材を取り扱う際には、十分注意するとともに、施工中・施工後といった状況に応じ、正しい認識のもとに取り扱うよう関係作業者に指導を行うこと。
6. 現場代理人は、作業中・作業後の安全・環境に対する点検を必ず行うこと。
7. 予期せぬ事故等により、流出した場合は、拡散を防止する処置等を行うとともに、速やかに監督職員及び、関係部局（下水河川事業課、環境政策課など）へ報告を行うこと。
8. 工事車両が通った土部は工事終了後整地すること。
9. 通行規制に該当する車輛は所轄の警察署に通行禁止道路通行許可申請を行うこと。
10. 本仮設計画は参考とし、現場状況・施工性・安全性などを考慮の上、当施設関係者及び監督職員と協議を行い、計画すること。

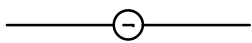
凡例



仮囲い範囲を示す。



枠組本足場範囲を示す。



カーエアコン（ラバーウェイト付）

敷鉄板(45m²)

25tラフタークレーン

春日保育所

枠組本足場
65m²

枠組本足場
7段

枠組本足場
3段

枠組本足場
78m²

会館棟

体育館

30,000

35,000

22,000

20,000

仮囲い
12m

工事車両駐車場資材置場(仮)
※工程ごとに配置
キャスターゲート

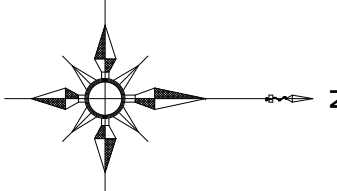
AS

非常用発電設備

倉庫

受水槽

キュービクル



Sheet No.
M-3

Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 仮設計画図

Date

Scale 1/200 (A2)

Checked by

b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE

機器表（撤去）

ガス式ヒートポンプ

1・3F 系統

ガスヒートポンプビル用マルチ

記 号	品 名 形 状	品 番	冷房能力	暖房能力	風 量	冷房消費電力	暖房消費電力	冷房ガス消費量	暖房ガス消費量	電 源	台 数	備 考
			kW	kW	m ³ /min	kW	kW	kW	kW			
GH0-2	室 外 機	TGMP280B1N	28.0	33.5		0.90	0.92	21.3	24.2	1φ200V	2	防振架台 GAS-N1011SH 共
GHI-1	天井カセット4方向吹出形	TKTP36M5	3.6	4.2	9～12	0.08	0.08			〃	1	ワイヤードリモコンスイッチ TKRCM14×8台 センターリモコン TMSC-SLA2A-A×1台
GHI-2	天井カセット4方向吹出形	TKTP45M5	4.5	5.3	10～15	0.08	0.08			〃	5	
GHI-4	天井カセット4方向吹出形	TKTP56M5	5.6	6.7	11～16	0.08	0.08			〃	2	
GHI-5	天井カセット4方向吹出形	TKTP71M5	7.1	8.5	11～16	0.09	0.09			〃	2	
GHI-6	天井カセット2方向吹出形	KTWP36M5	3.6	4.2						〃	1	
GHI-7	天井カセット2方向吹出形	KTWP45M5	4.5	5.3						〃	1	

2F 系統

ガスヒートポンプビル用マルチ

記 号	品 名 形 状	品 番	冷房能力	暖房能力	風 量	冷房消費電力	暖房消費電力	冷房ガス消費量	暖房ガス消費量	電 源	台 数	備 考
			kW	kW	m ³ /min	kW	kW	kW	kW			
GH0-1	室 外 機	TGNP200A5N	20.0	25.0		0.67	0.73	18.0	19.6	1φ200V	1	防振架台 GAS-N810SH 共
GHI-2	天井カセット4方向吹出形	TKTP45M5	4.5	5.3	10～15	0.08	0.08			〃	2	ワイヤードリモコンスイッチ TKRCM14×2台
GHI-3	天井カセット2方向吹出形	KTWP56M5	5.6	6.7	10～14	0.125	0.125			〃	2	

電気式ヒートポンプ

ヒートポンプマルチエアコン 系統

記 号	品 名 形 状	品 番	冷房能力	暖房能力						電 源	台 数	備 考
			kW	kW								
EH0-1	室 外 機	MP40DV	4	6.8						1φ200V	1	ワイヤレスリモコンスイッチ×2台
EHI-1	室内機（壁掛形）	P22DTV-W	2.2	3.6						〃	1	
EHI-2	室内機（壁掛形）	P28DTV-W	2.8	4.2						〃	1	



Sheet No.

M-4

14

Name春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class機器表（撤去）

Scale—

Checked by

b. s. l. s.

Date

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE

機器表（改修）

ガス式ヒートポンプ

1 F 系統

ガスヒートポンプビル用マルチ（改修）

記 号	品 名 形 状	冷房能力	暖房能力	風 量	冷房消費電力	暖房消費電力	冷房ガス消費量	暖房ガス消費量	電 源	台 数	燃 料	付 属 品	設置場所	備 考
		kW	kW	m ³ /min	kW	kW	kW	kW						
GH0-3	室 外 機	28.0	33.5		0.65	0.41	30.2	26.5	1φ200V	1	13A	防振架台 追加冷媒充填量：6kg	屋上	
GHI-1	天井カセット4方向吹出形	3.6	4.2	11.5～14.5	0.02	0.02			1φ200V	1		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	相談室	
GHI-2	天井カセット4方向吹出形	4.5	5.3	11.5～15.5	0.02	0.02			1φ200V	3		ワイヤードリモコンスイッチ 2台、ドレンアップキット、エアフィルター	会議室（1）（2）	
GHI-4	天井カセット4方向吹出形	5.6	6.7	11.5～16.5	0.025	0.025			1φ200V	2		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	和室	
												集中管理リモコン 1台（1～3 F GHP系統）	事務所（1）	※ON-OFF制御機能があるもの

2 F 系統

ガスヒートポンプビル用マルチ（改修）

記 号	品 名 形 状	冷房能力	暖房能力	風 量	冷房消費電力	暖房消費電力	冷房ガス消費量	暖房ガス消費量	電 源	台 数	燃 料	付 属 品	設置場所	備 考
		kW	kW	m ³ /min	kW	kW	kW	kW						
GH0-1	室 外 機	22.4	25.0		0.55	0.275	19.1	18.7	1φ200V	1	13A	防振架台 追加冷媒充填量：3kg	屋上	
GHI-2	天井カセット4方向吹出形	4.5	5.3	11.5～15.5	0.02	0.02			1φ200V	2		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	図工室	
GHI-3	天井カセット2方向吹出形	5.6	6.7	8.5～12.5	0.03	0.03			1φ200V	2		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	事務室	

3 F 系統

ガスヒートポンプビル用マルチ（改修）

記 号	品 名 形 状	冷房能力	暖房能力	風 量	冷房消費電力	暖房消費電力	冷房ガス消費量	暖房ガス消費量	電 源	台 数	燃 料	付 属 品	設置場所	備 考
		kW	kW	m ³ /min	kW	kW	kW	kW						
GH0-2	室 外 機	35.5	40.0		0.65	0.45	32.0	28.9	1φ200V	1	13A	防振架台 追加冷媒充填量：7kg	屋上	
GHI-2	天井カセット4方向吹出形	4.5	5.3	11.5～15.5	0.02	0.02			1φ200V	2		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	ロビー	
GHI-5	天井カセット4方向吹出形	7.1	8.5	13～21	0.035	0.035			1φ200V	2		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	料理教室	
GHI-6	天井カセット2方向吹出形	3.6	4.2	8～11.5	0.025	0.025			1φ200V	1		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	和室2	
GHI-7	天井カセット2方向吹出形	4.5	5.3	8.5～12	0.025	0.025			1φ200V	1		ワイヤードリモコンスイッチ 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	和室3	

電気式ヒートポンプ

ヒートポンプマルチエアコン系統（改修）

記 号	品 名 形 状	冷房能力	暖房能力		冷房消費電力	暖房消費電力			電 源	台 数	付 属 品	設置場所	備 考
		kW	kW		kW	kW							
EH0-1	室 外 機	4.5	5.4						1φ200V	1	防振ゴム	屋外地上部	
EHI-1	室内機（壁掛形）	2.2	3.6						1φ200V	1	ワイヤレスリモコン 1台、エアフィルター	用務員控室（1F）	
EHI-2	室内機（壁掛形）	2.8	4.2						1φ200V	1	ワイヤレスリモコン 1台、エアフィルター	警備室（1F）	

ヒートポンプツインエアコン系統（新設）

記 号	品 名 形 状	冷房能力	暖房能力		冷房消費電力	暖房消費電力			電 源	台 数	付 属 品	設置場所	備 考
		kW	kW		kW	kW							
EH0-2	室 外 機（ツイン）	14.0	16.0		4.18	4.05			3φ200V	1	壁掛架台（メッキ）、防振ゴム	屋外地上部	壁掛架台は壁面にネガティブカー、ダブルナットで固定すること
EHI-3	天井カセット4方向吹出形	7.1	8.0							2	ワイヤードリモコン 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	事務所（1）（1F）	
EH0-3	室 外 機（ツイン）	12.5	14.0		3.49	3.36			3φ200V	1	壁掛架台（メッキ）、防振ゴム	屋外地上部	壁掛架台は壁面にネガティブカー、ダブルナットで固定すること
EHI-4	天井カセット4方向吹出形	6.3	7.0							2	ワイヤードリモコン 1台、ドレンアップキット、エアフィルター	事務所（2）（1F）	

特記事項

※表示能力は、JIS条件とする。

※パッケージエアコンの製作種別による些少の電気容量等の変更は認める。

※室内機の二次側配管配線及び制御配管配線は本工事とする。

※リモコンは、ワイヤードリモコンとする。ルームエアコンは、ワイヤレスリモコンとする。

※リモコン取付位置は監督員と協議の上、決定のこと。

※予備フィルター100%納品のこと。

※各空調機はエアカットバルブ共とする。

※GHP系統は、集中制御コントローラ対応とする。

※電気容量は、JIS B 8116で規定された能力、消費電力を示す。

※EHP系統にR32冷媒を採用すること。

※電源送りは電気設備工事

※騒音及び振動に係る規制基準を順守すること。

※騒音規制法・振動規制法に基づく官庁届出が必要な場合、届出書類一式を作成し届出業務を行うこと。

※表中記載の機器は、公共建築工事標準仕様書（機械設備工事）を適用する。



Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 機器表（改修）

Date

Scale - Checked by b. s. l. s.

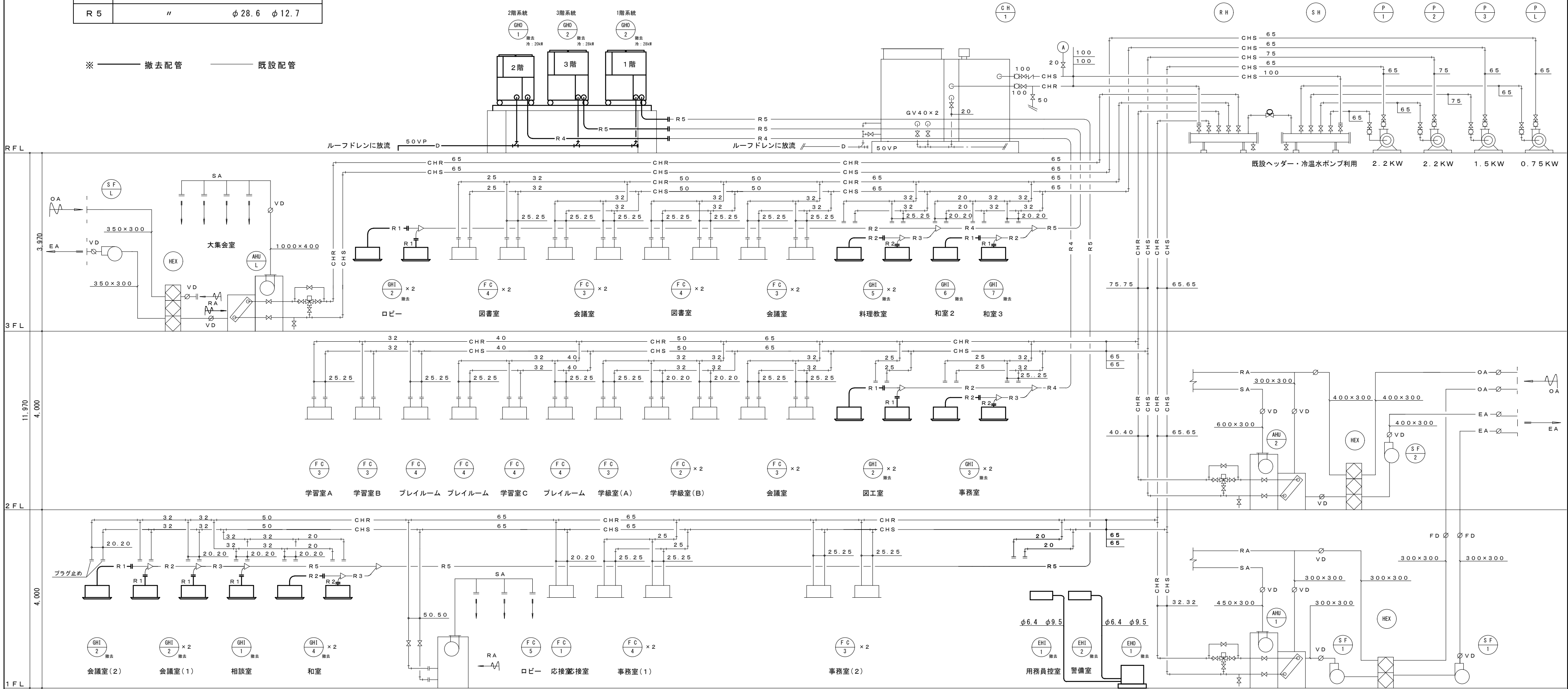
TAKATSUKI CITYHALL A. SECTION OF ARCHITECTURE

Sheet No. M-5 14

凡 例

記 号	管 名 : 材 料 名
R 1	冷媒配管用被覆銅管 φ12.7 φ6.4
R 2	" φ15.9 φ9.5
R 3	" φ19.1 φ9.5
R 4	" φ25.4 φ12.7
R 5	" φ28.6 φ12.7

※ ——— 撤去配管 ——— 既設配管



※ ドレン管は各階平面図詳細

配 管 ・ ダ ク ト 系 統 図 (撤 去)



Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 系統図 (撤去)

Date

Sheet No.

Checked by

Scale

b. s. l. s.

M-6

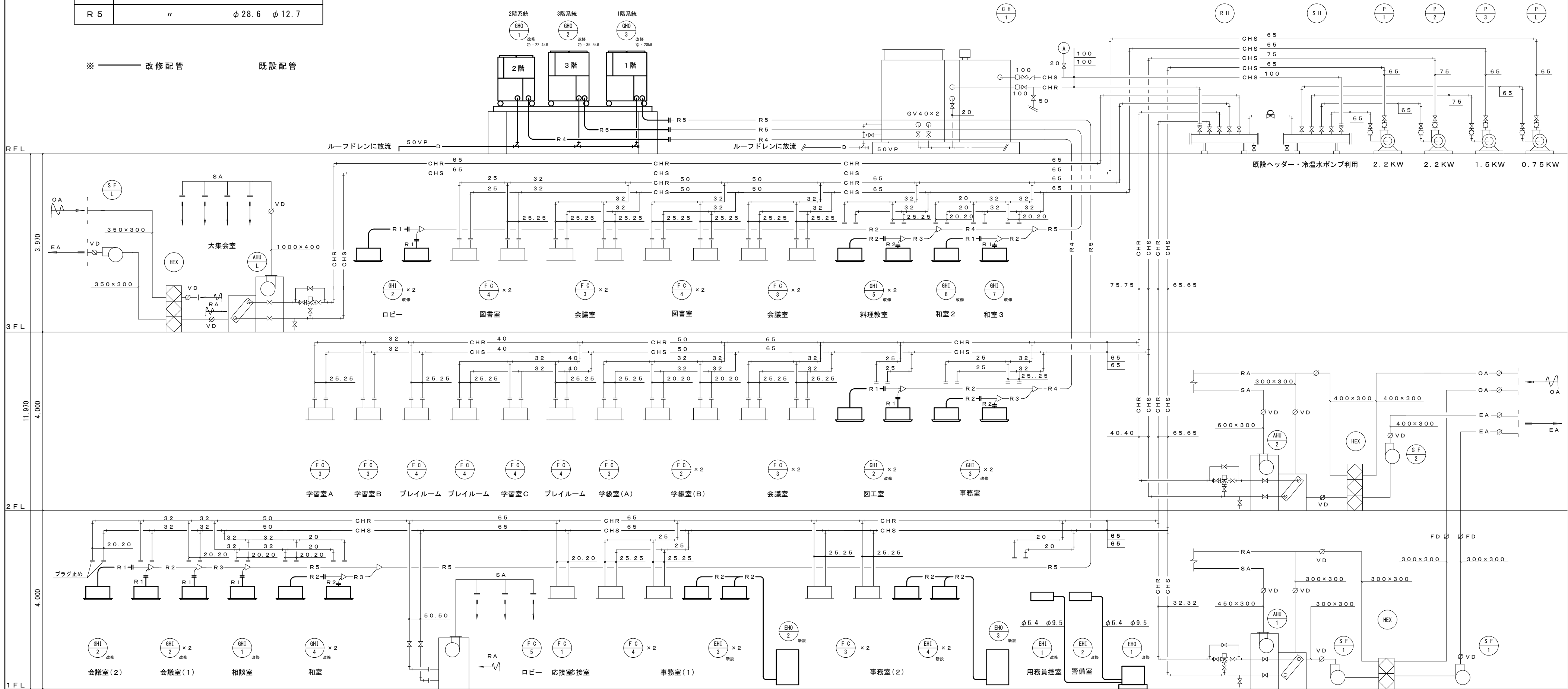
TAKATSUKI

CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE

凡 例

記 号	管 名 : 材 料 名
R 1	冷媒配管用被覆銅管 φ12.7 φ6.4
R 2	〃 φ15.9 φ9.5
R 3	〃 φ19.1 φ9.5
R 4	〃 φ25.4 φ12.7
R 5	〃 φ28.6 φ12.7

※ ——— 改修配管 ——— 既設配管



※ ドレン管は各階平面図詳細

配 管 ・ ダ ク ト 系 統 図 (改 修)



Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 系統図 (改修)

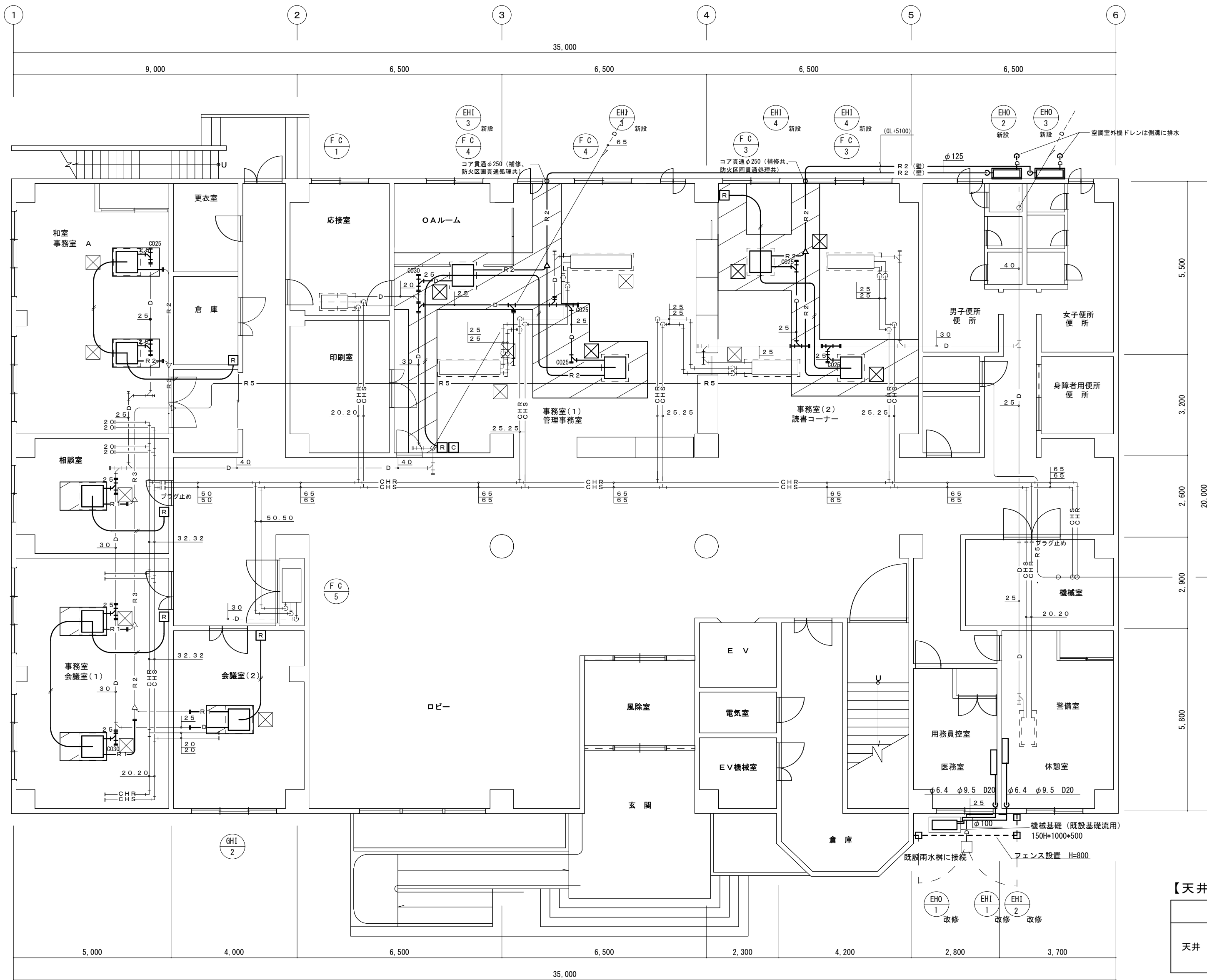
Date

Sheet No.
M-7

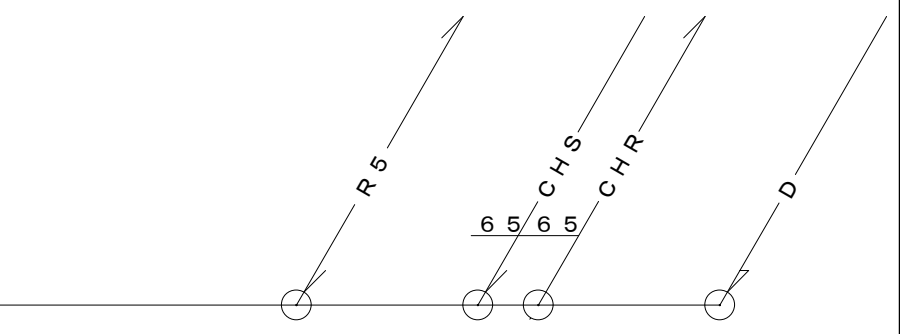
Checked by

Scale - b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE



【凡例】	
記号	名称
	改修を示す（太線）
	既設を示す（細線）
	給水管
	ドレン管
	ガス管
	配管の接続
	冷媒配管用被覆銅管 φ 12.7 φ 6.4
	冷媒配管用被覆銅管 φ 15.9 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 19.1 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 25.4 φ 12.7
	冷媒配管用被覆銅管 φ 28.6 φ 12.7
	天井点検口 450□ 新設 5ヶ所
	EM-CEES1.25□-2C（19）（リモコン線）
	個別空調機リモコン
	集中リモコン（空調機）（配線は電気設備工事）




-A-	EM-CEES 1.25□-2C	制御線
-B-	EM-CEE 2.0□-3C	電源線（7-λ線共）

天井内は、ケーブルコロガシとする。
A, Bは冷媒管共巻とする。

【天井改修内容】 53m ²	
現況	改修
天井 石膏ボード張りt=9.5 EP塗装 （有孔ボード）	ボード撤去石膏ボード張りt=9.5新設の上EP塗装 （有孔ボード） （軽鉄下地共）

※天井ボードは、アスベスト含有見込みとしてアスベスト対策し適切に処分すること。
※天井ボードの取り替え及び、空調室内機の取り替えに脚立足場を計上するものとする。56m²

1 階 平 面 図（改 修） S = 1 / 1 0 0



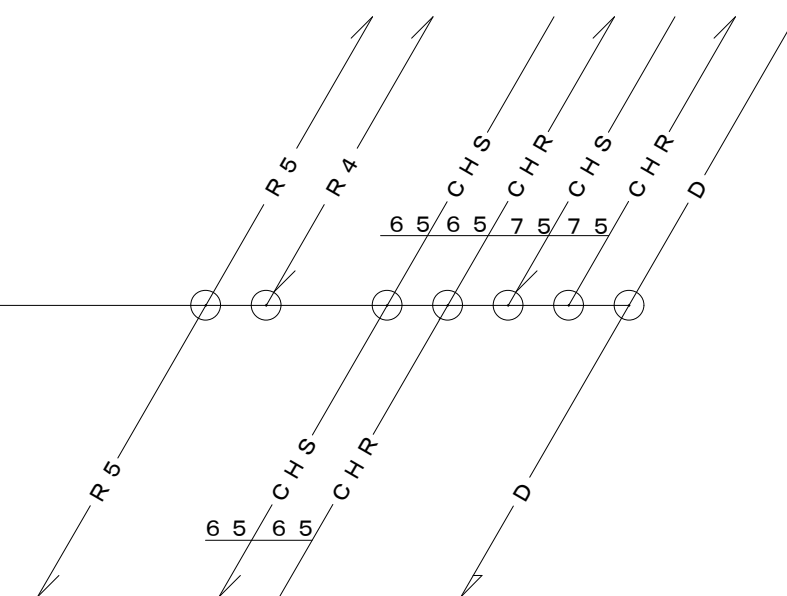
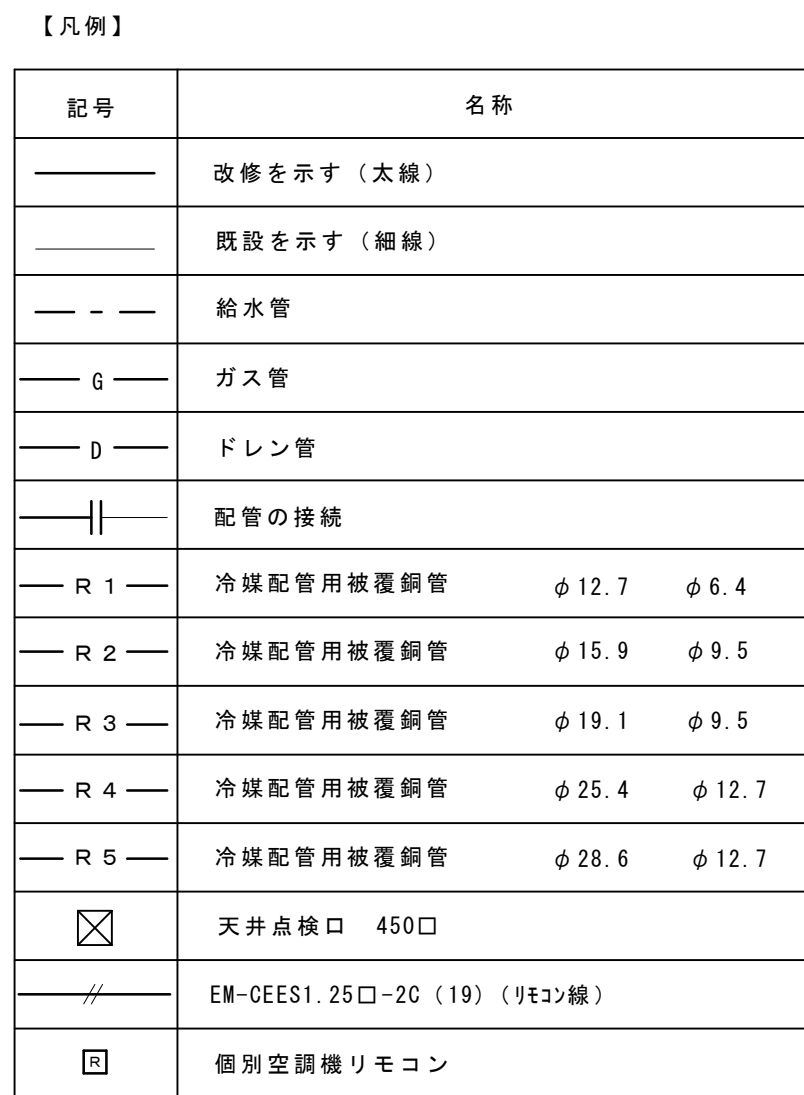
Sheet No. M-9 14

Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 1 階 平面図（改修） Date


Scale 1/100 (A2) Checked by b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A. SECTION OF ARCHITECTURE



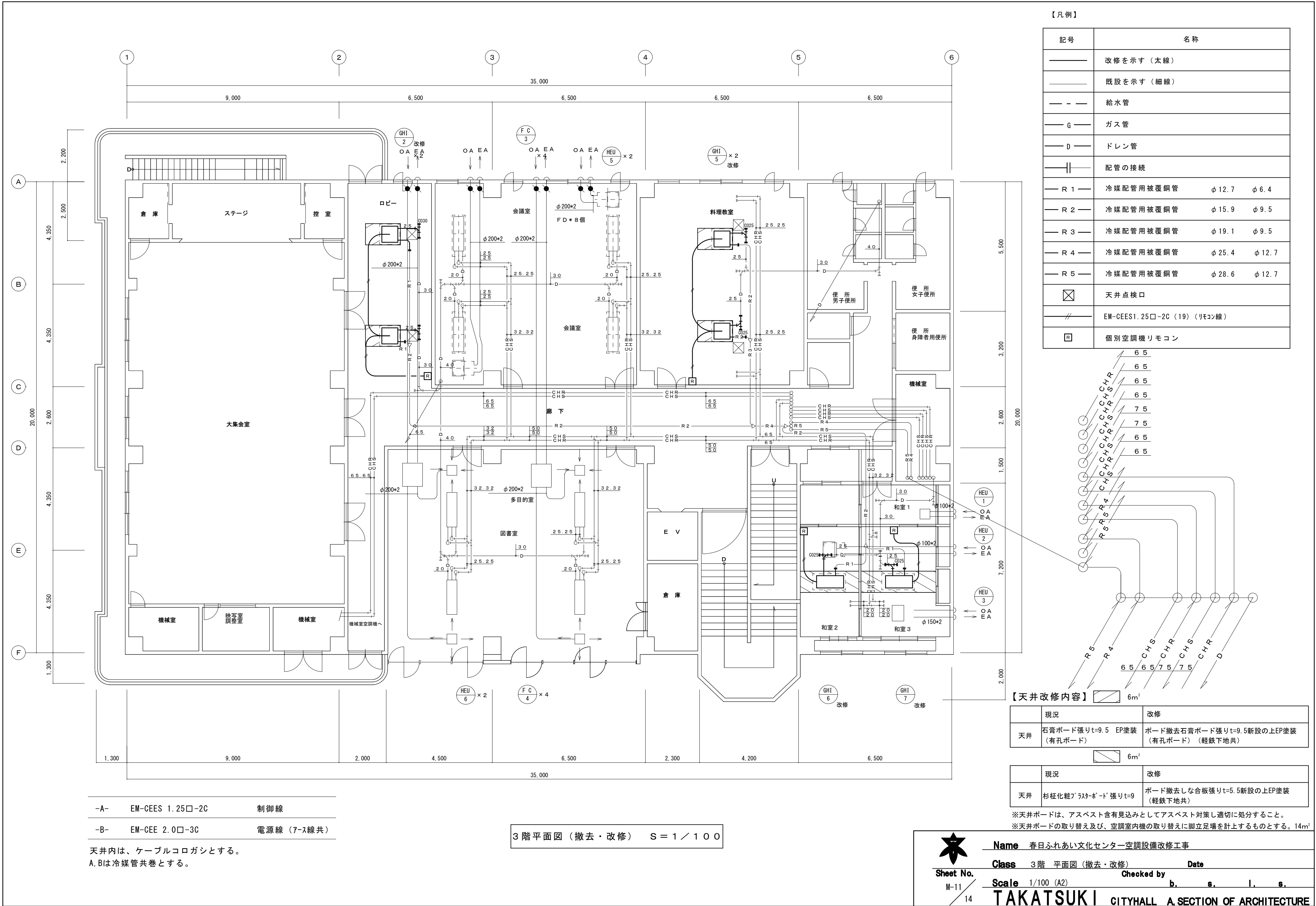
-A-	EM-CEES 1.25□-2C	制御線
-B-	EM-CEE 2.0□-3C	電源線（7-ス線共）

A, Bは冷媒管共巻とする。

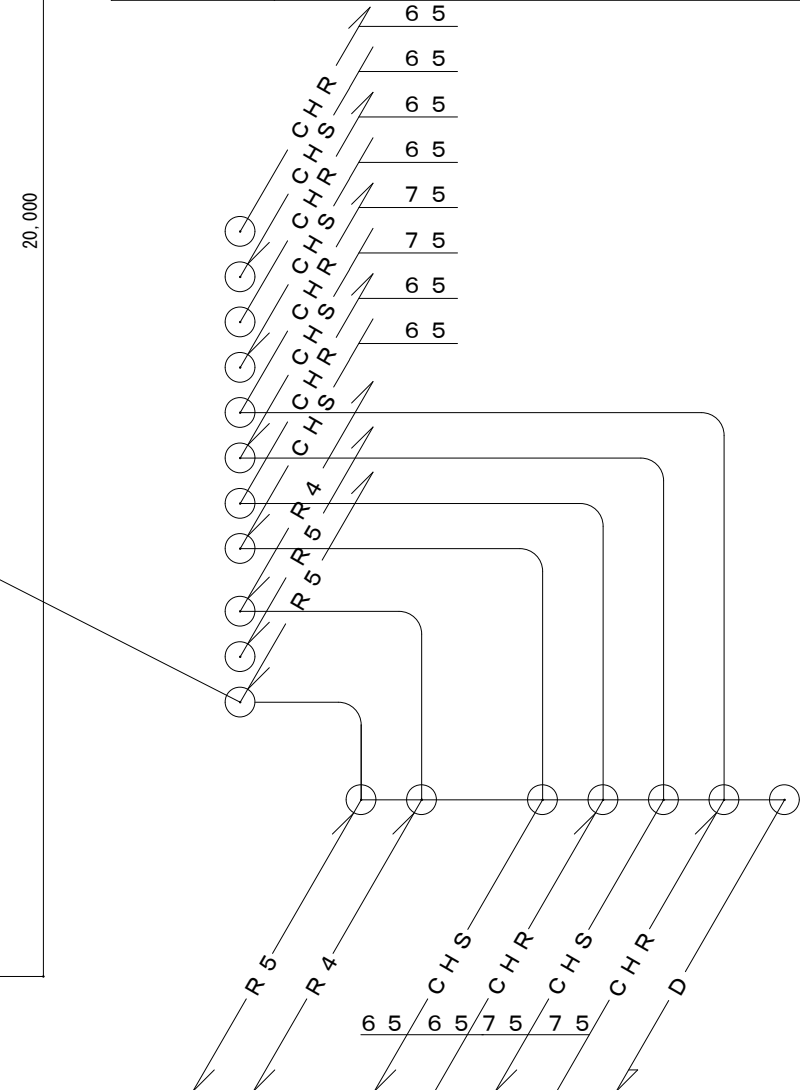
【天井改修内容】  7m ²		
	現況	改修
天井	石膏ボード張りt=9.5 EP塗装 (有孔ボード)	ボード撤去石膏ボード張りt=9.5新設の上EP塗装 (有孔ボード) (軽鉄下地共)

※天井ボードは、アスベスト含有見込みとしてアスベスト対策し適切に処分すること。
※天井ボードの取り替え及び、空調室内機の取り替えに脚立足場を計上するものとする。8m²

2階平面図 (撤去・改修)	S = 1 / 1 0 0
---------------	---------------



【凡例】	
記号	名称
	改修を示す（太線）
	既設を示す（細線）
	給水管
	ガス管
	ドレン管
	配管の接続
	冷媒配管用被覆銅管 φ 12.7 φ 6.4
	冷媒配管用被覆銅管 φ 15.9 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 19.1 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 25.4 φ 12.7
	冷媒配管用被覆銅管 φ 28.6 φ 12.7
	天井点検口
	EM-CEES1.25□-2C（19）（リモコン線）
	個別空調機リモコン



【天井改修内容】		
	現況	改修
天井	石膏ボード張りt=9.5 EP塗装 (有孔ボード)	ボード撤去石膏ボード張りt=9.5新設の上EP塗装 (有孔ボード) (軽鉄下地共)
	現況	改修
天井	杉化粧板'ラスタ-ボ-ド'張りt=9	ボード撤去しな合板張りt=5.5新設の上EP塗装 (軽鉄下地共)

※天井ボードは、アスベスト含有見込みとしてアスベスト対策し適切に処分すること。
※天井ボードの取り替え及び、空調室内機の取り替えに脚立足場を計上するものとする。14㎡

-A-	EM-CEES 1.25□-2C	制御線
-B-	EM-CEE 2.0□-3C	電源線（7-2線共）

天井内は、ケーブルコロガシとする。
A, Bは冷媒管共巻とする。

3階平面図（撤去・改修） S = 1 / 100

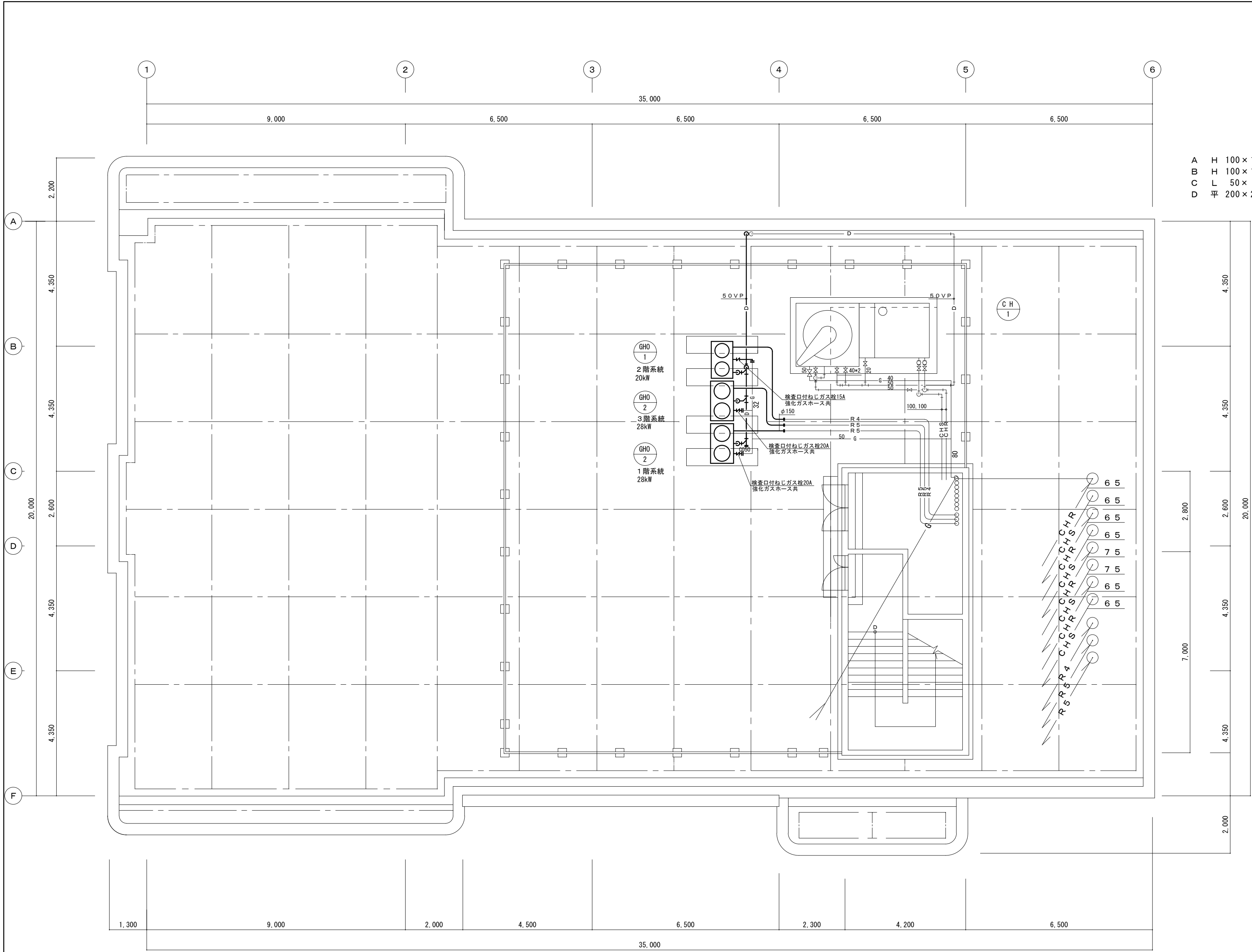


Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

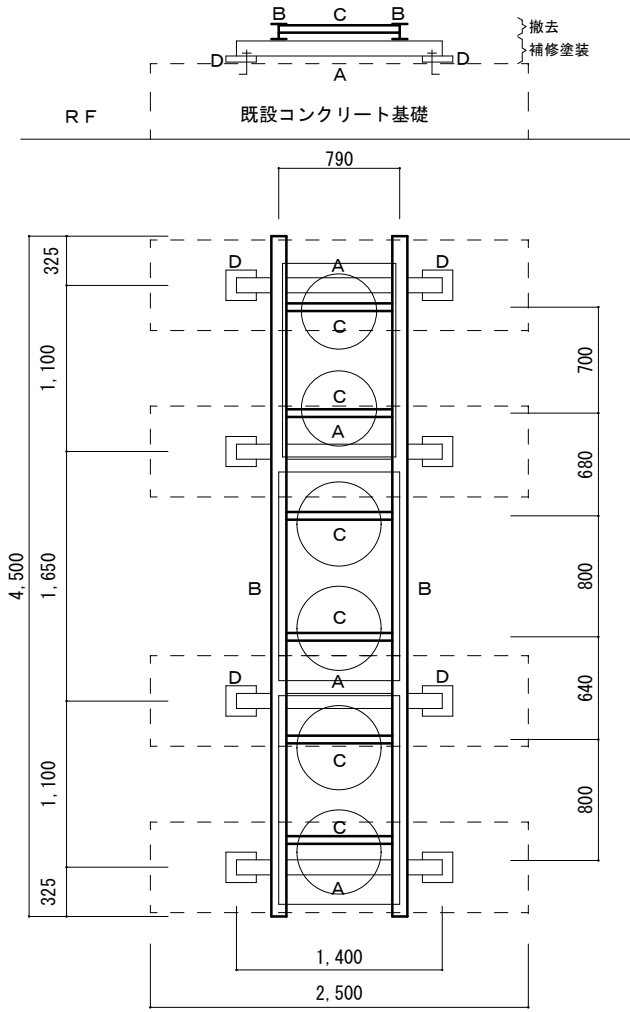
Class 3階 平面図 (撤去・改修) **Date**

Sheet No. M-11 **Scale** 1/100 (A2) **Checked by** b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE



A H 100×100×6
B H 100×100×6
C L 50×50×6
D 平 200×200×9



鉄骨架台詳細図 S=1/50

【凡例】

記号	名称
	撤去を示す（太線）
	既設を示す（細線）
	給水管
	ガス管
	ドレン管
	配管の切断
	冷媒配管用被覆銅管 φ 12.7 φ 6.4
	冷媒配管用被覆銅管 φ 15.9 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 19.1 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 25.4 φ 12.7
	冷媒配管用被覆銅管 φ 28.6 φ 12.7

-A-	CVVS 1.25□-2C	制御線
-B-	CVV 2.0□-3C	電源線（7-ス線共）

A, Bは冷媒管共巻とする。

R 階平面図（撤去） S = 1 / 1 0 0



Sheet No.
M-12

Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class R 階 平面図（撤去）

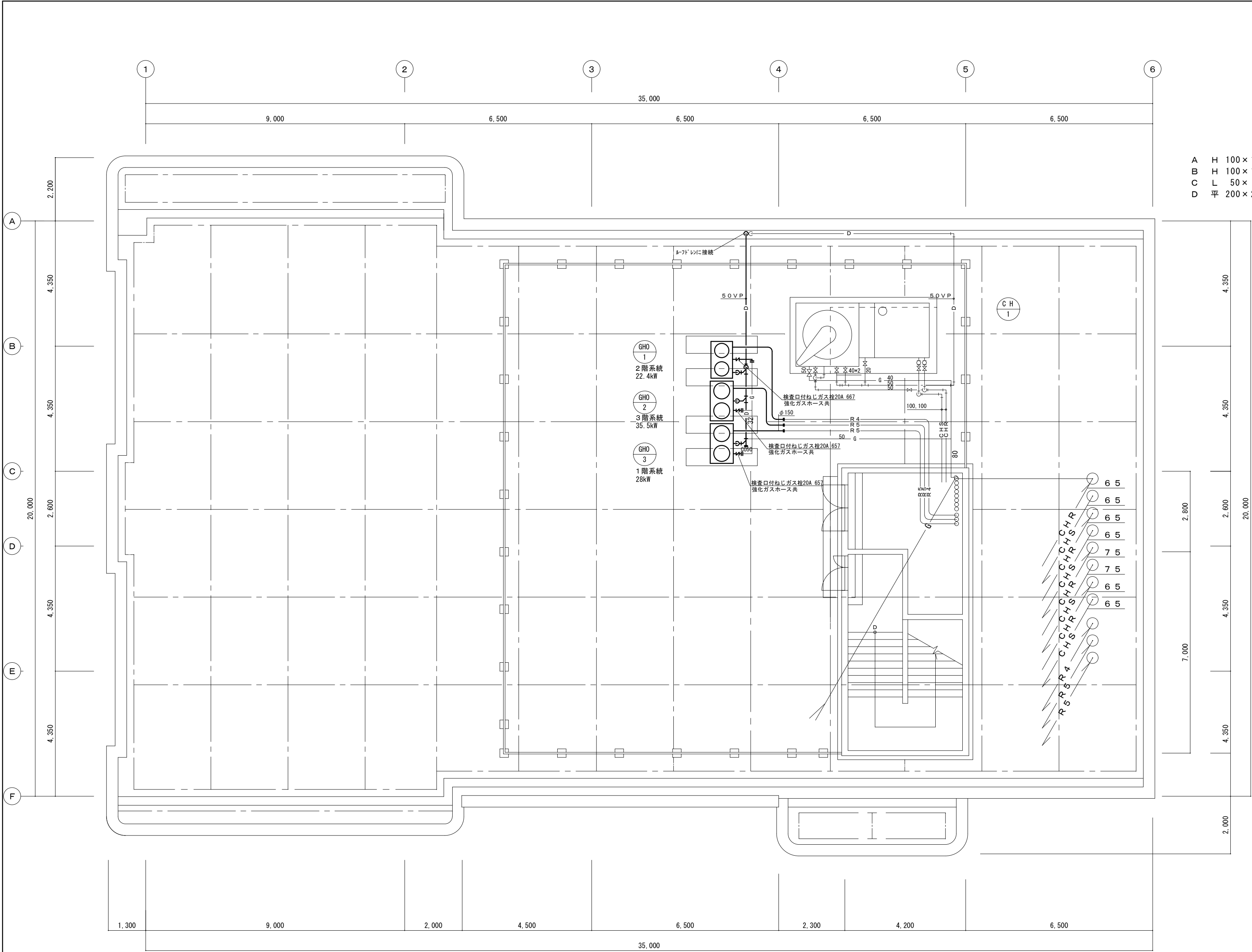
Date

Scale 1/100 (A2)

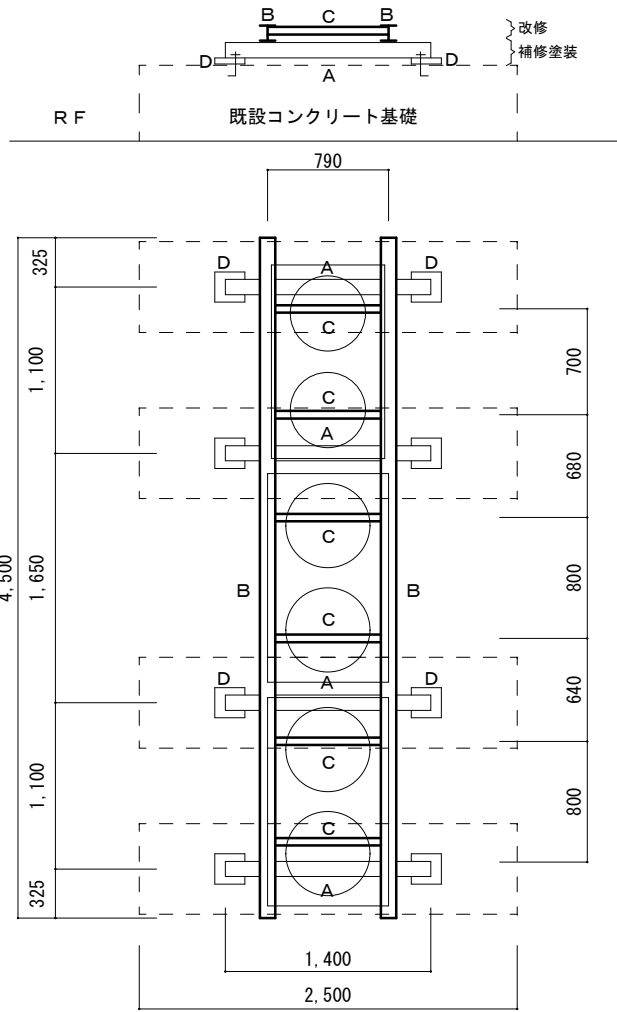
Checked by

b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A. SECTION OF ARCHITECTURE



A H 100×100×6
B H 100×100×6
C L 50×50×6
D 平 200×200×9



鉄骨架台詳細図 S=1/50

【凡例】

記号	名称
	改修を示す（太線）
	既設を示す（細線）
	給水管
	ガス管
	ドレン管 ※GH0の排水は間接排水とする。
	配管の接続
	冷媒配管用被覆銅管 φ 12.7 φ 6.4
	冷媒配管用被覆銅管 φ 15.9 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 19.1 φ 9.5
	冷媒配管用被覆銅管 φ 25.4 φ 12.7
	冷媒配管用被覆銅管 φ 28.6 φ 12.7

-A-	EM-CEES 1.25□-2C	制御線
-B-	EM-CEE 2.0□-3C	電源線（7-ス線共）

A, Bは冷媒管共巻とする。

R 階平面図（改修） S = 1 / 1 0 0



Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class R階 平面図（改修）

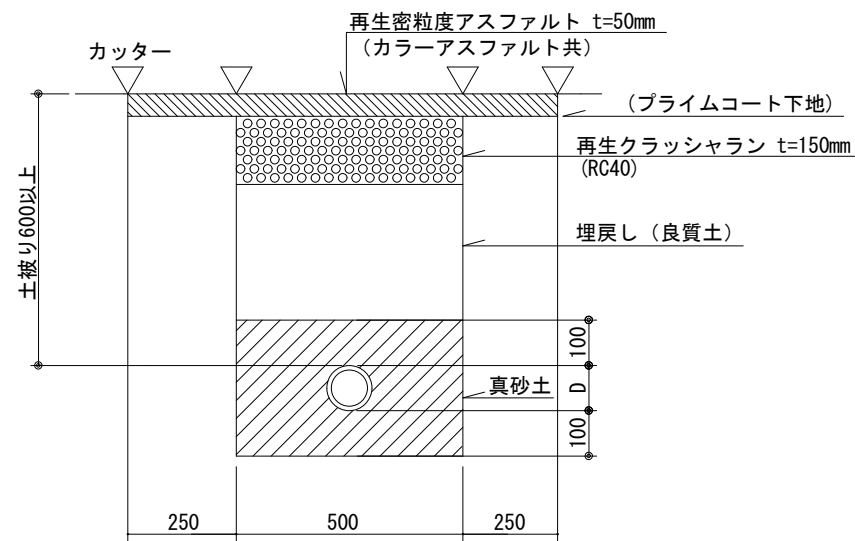
Date

Scale 1/100 (A2)

Checked by b. s. l. s.

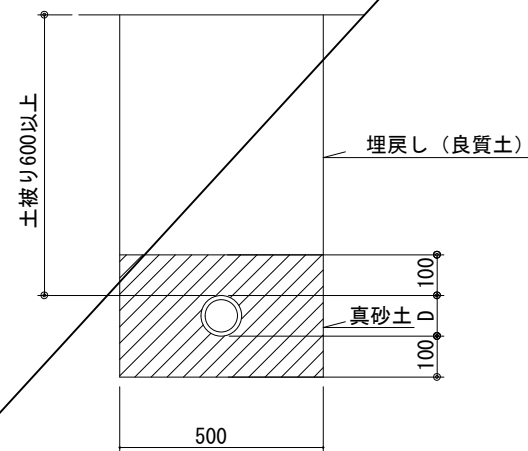
TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE

構内アスファルト舗装埋設管要領図



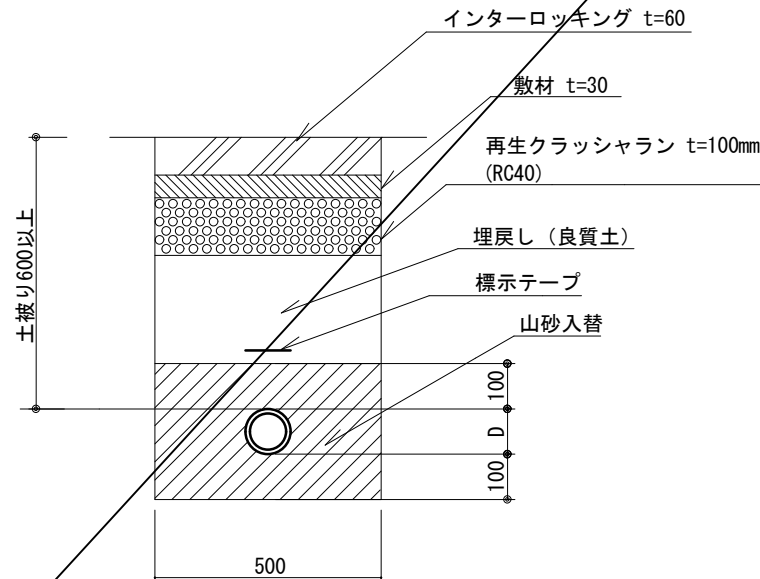
※ 標示テープは給水、消火のみとする。

一般場内埋設管要領図



※ 標示テープは給水、消火のみとする。

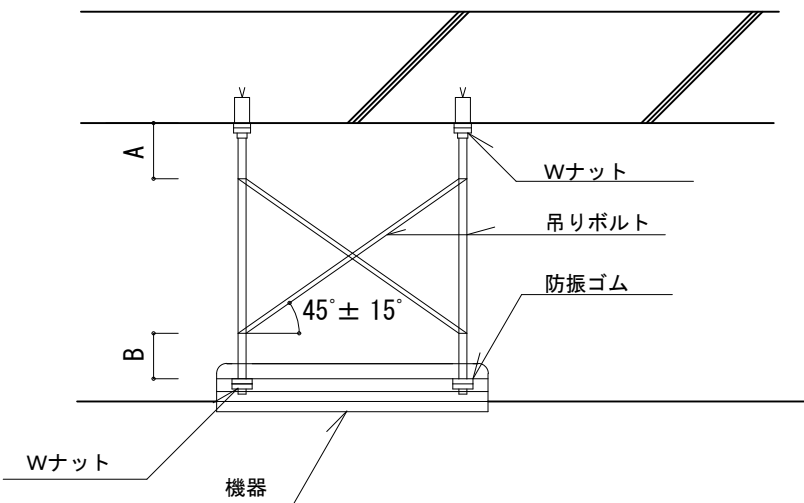
構内インターロッキング舗装埋設管要領図



※ 標示テープは給水、消火のみとする。

天井面に取り合う機器の据付要領図

※ 吊り高さが1mを超えた場合



4面にそれぞれ2本の斜材でX形とすること

A + B ≤ 250 mmとすること

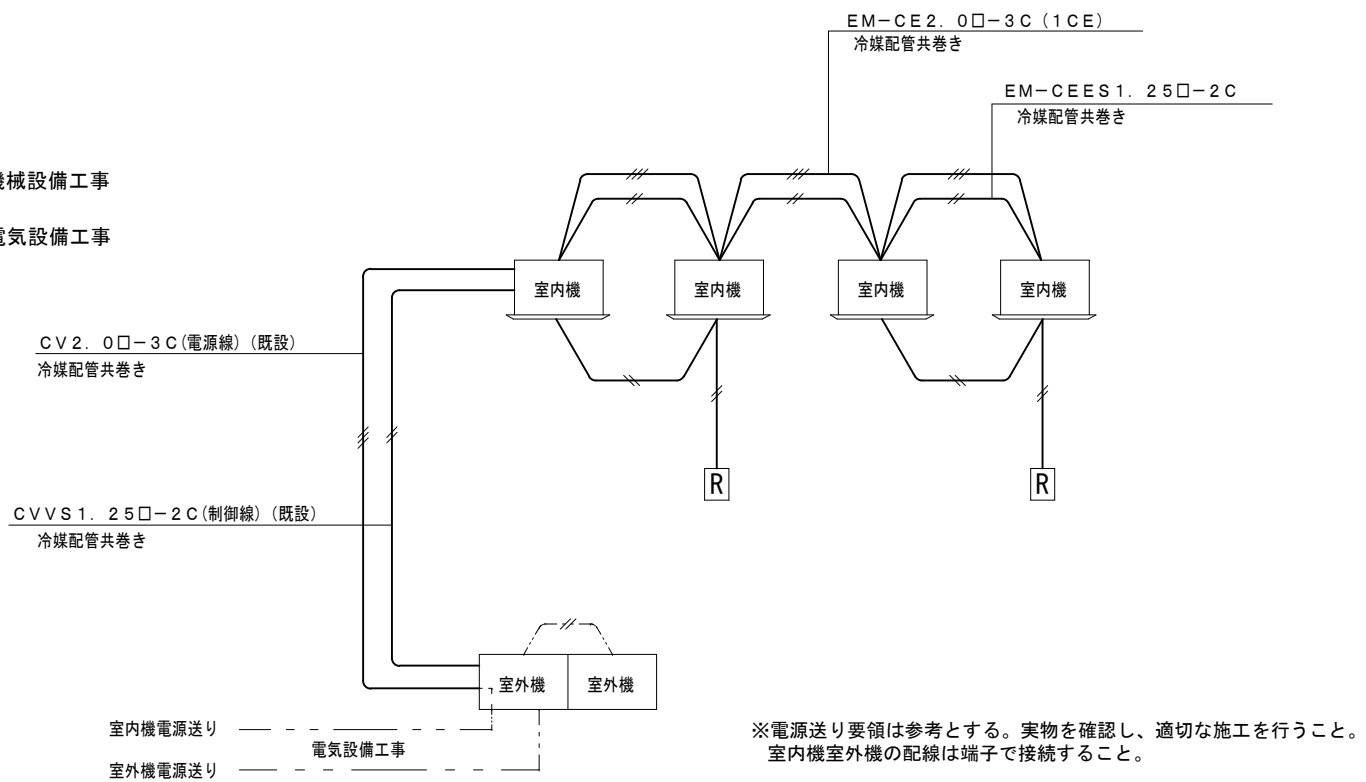
※ メーカー指定の据付方法がある場合はメーカー指定とすること (要振れ止め施工)

配線図 (GHP)

※ 線種凡例 (区分) ※

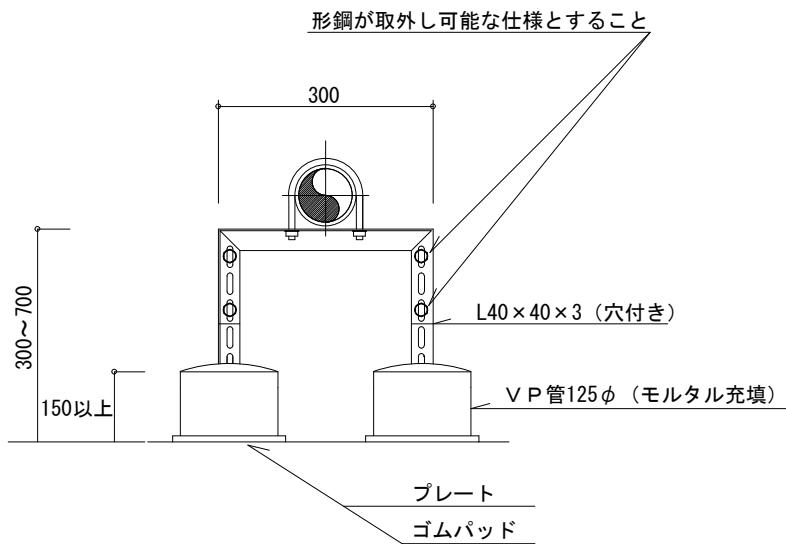
————— : 機械設備工事

- - - - - : 電気設備工事



※ 電源送り要領は参考とする。実物を確認し、適切な施工を行うこと。
室内機室外機の配線は端子で接続すること。

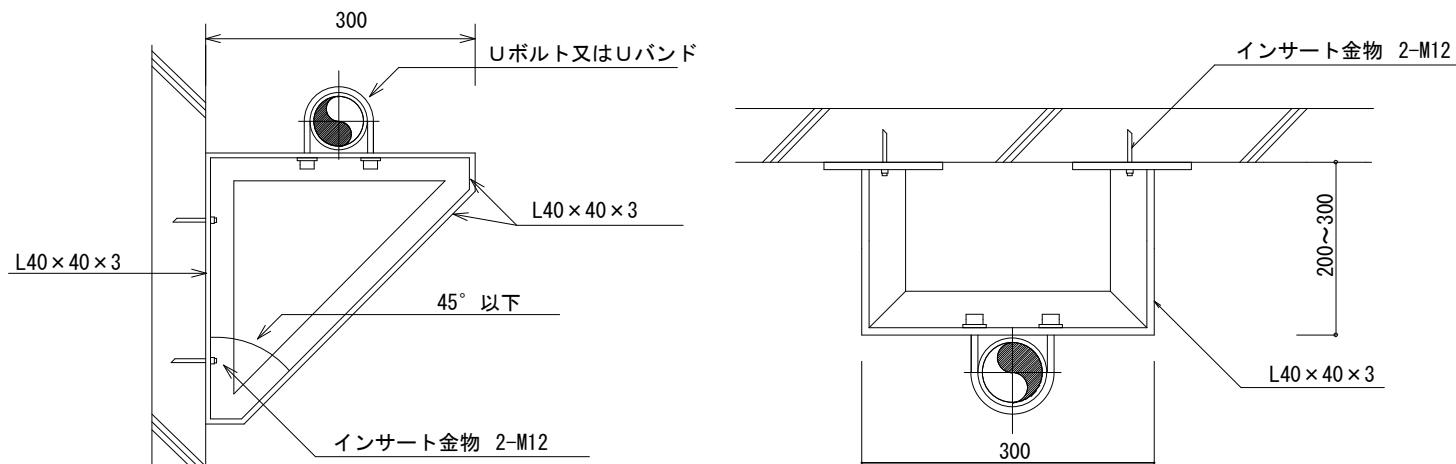
形鋼支持架台材参考図



※ 支持間隔は2.0m以下とすること。
架台材は溶融亜鉛メッキとし、配管等が異種金属の場合は絶縁処理をすること。

屋上横引配管 17ヶ所

形鋼振れ止め支持材参考図



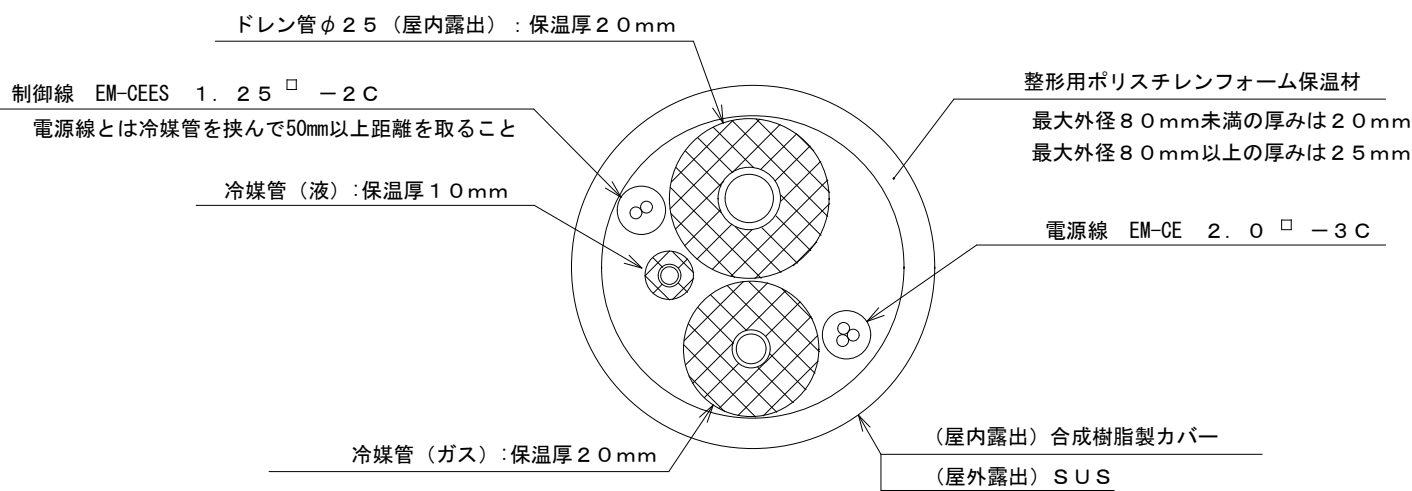
※ 支持間隔は2.0m以下とすること。
架台材は溶融亜鉛メッキとし、配管等が異種金属の場合は絶縁処理をすること。

※ 支持箇所は各階1箇所以上とする
架台材は溶融亜鉛メッキとし、配管等が異種金属の場合は絶縁処理をすること。

壁横引配管

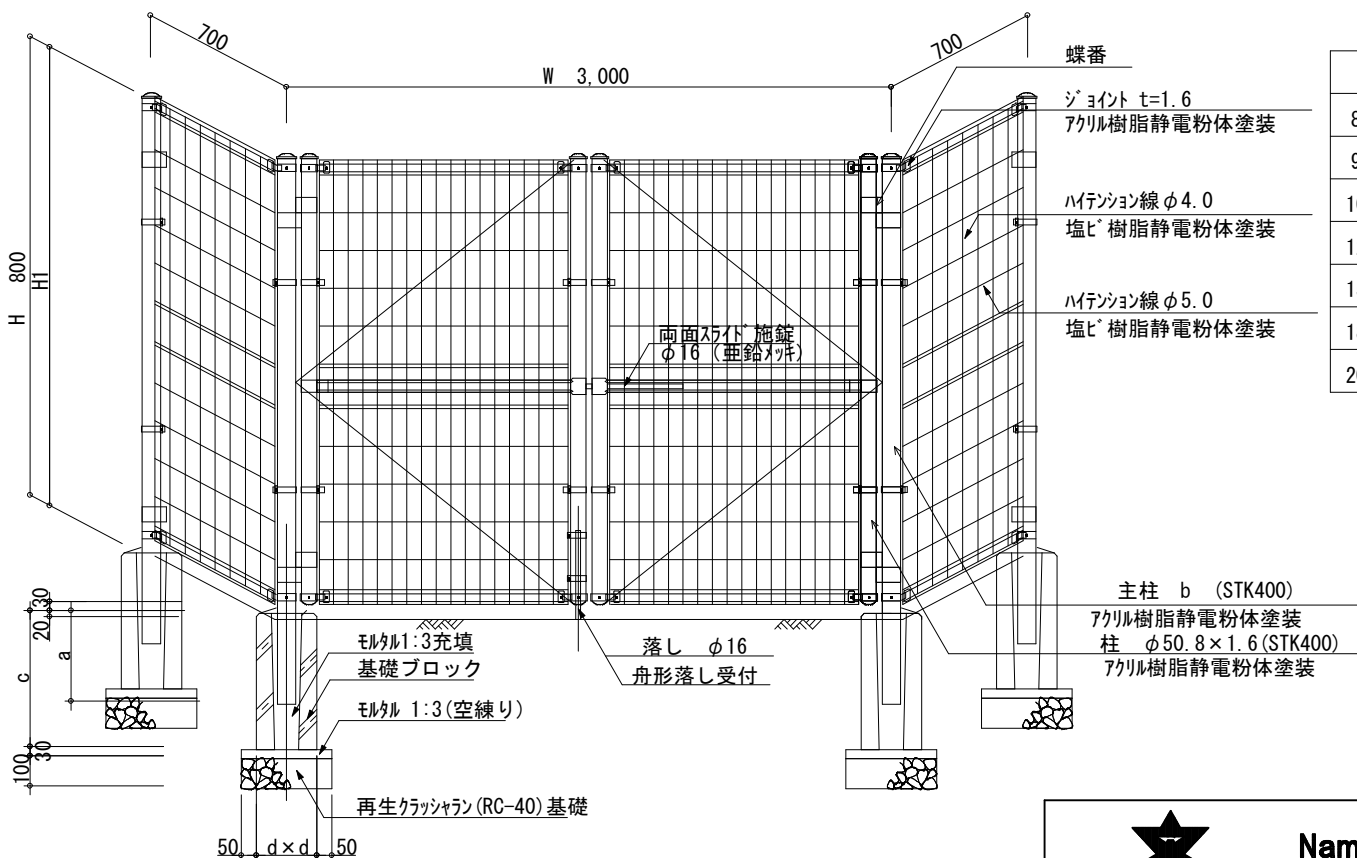
壁立配管 (平面図)

冷媒配管配線・保温標準断面図 (制御線共巻)



※ 外装材の損傷を防止するため、整形用ポリスチレンフォームを使用すること。
(屋内配管の2m以上の高さの部分は、この限りではない。)
フェンス外の屋外露出部における高さ1.5m以下のSUSラッキング部は
全てカラーVPIにて保護すること。
屋外露出部縦管のSUSラッキングには下部に水抜き穴を設けること。

フェンス詳細図



【部材リスト】											
H	標準W	H1	a	b	c	d	標準W	a	b	c	d
800	1500	770	250	φ 60.5 × 2.3	450	200	2500	250	φ 60.5 × 2.3	450	200
900		870									
1000		970									
1200	2000	1170	300	φ 60.5 × 3.2	450	200	3000	300	φ 60.5 × 3.2		
1500		1470									
1800		1770						450	φ 89.1 × 3.2	600	300
2000		1970									



Name 春日ふれあい文化センター空調設備改修工事

Class 標準図

Date

Sheet No. M-14

Scale -

Checked by

b. s. l. s.

TAKATSUKI CITYHALL A SECTION OF ARCHITECTURE

14